相高新聞

相生市山手1-722-10
TEL(0791)23-0800

HPのQRコード

44回生　4月15日
校外学習
～ＵＳＪ～

コロナ禍で心配された44回生の一日校外学習でしたが、当初の予定通りＵＳＪへのバス旅行を実施することができました。

朝、相生駅に集合した時には今にも雨が降りそうでしたが、日頃の行いのせいかＵＳＪに到着するころには天候も回復し、生徒たちのテンションも最高潮。

パーク内ではグループごとに自由にアトラクションを楽しみ、感染対策をしながら、笑顔でランチを頬張りました。

午後3時からゲート前でクラス写真を撮影した後、帰路につきました。

受験勉強の合間に、思いっきりリフレッシュできた一日となりました。

45回生　4月15日
野外活動
～ペーロン競漕体験～

クラスの団結力を高めるために、相生市の伝統文化である「ペーロン競漕」の体験を実施しました。

新型コロナウィルス感染拡大のため、昨年、一昨年と開催できておらず、3年ぶりの開催です。雨の心配がありましたが、皆の想いが天に通じたのか、無事に開催することができました。

クラスを2グループ（紅・白）に分け、ペーロン競漕体験、ペーロン文化についての講義を、市役所とペーロン協会の皆さまからご指導いただきました。ペーロン競漕体験では、担任の号令のもと、銅鑼、太鼓の音を合わせて、櫂を一斉に動かす練習を何度も行いました。そして、競漕体験の最後に行われた300mのタイムレースでは、練習の成果を発揮するべく、全員が力いっぱい漕ぎました。

【結果】

1位	5組	白班	1分55秒
2位	1組	白班	2分02秒
3位	2組	白班	2分04秒

入賞したクラス・班だけでなく、心を一つに取り組んだ達成感に溢れ、全員が良い笑顔で終えることができました。来週からは、いよいよ放課後補習も始まり、通常の高校生活に戻りますが、学校の中核学年として、ペーロン体験で培った団結力で、活躍してくれることと思います。

46回生　4月27日
野外活動
～グリーンエコー笠形～

神崎郡神河町のグリーンエコー笠形で1日野外活動を行いました。これは本校新入生の恒例行事となっているものです。感染防止のためバス内での校歌練習ができないということで、例年行っていた校歌コンクールは実施できませんでしたが、野外活動のメインとなる飯盒炊さんは実施することができました。火起こし、野菜や肉を細かく切る下準備、調理、洗米と炊飯、後片付けなど全員で役割を分担し、カレー作りに挑戦しました。慣れない手つきで包丁を使う者、煙まみれで火をつけるためにうちわをあおぐ者、テキパキと指示して調理を進める者など生き生きとした表情を見せていました。自然の中で力を合わせて作ったカレーの味は格別なものでした。

次にクイズ形式のオリエンテーリング「謎解き脱出ゲーム」をしました。難易度が高く、なかなか解けませんでしたが、意見を出し合い知恵を絞って取り組んでいました。初めてコミュニケーションを取ったクラスメイトもいたようです。友だち作りのスタートを切れたのではないかと思います。最後に大縄跳び大会を実施しました。大きな声を掛け合い、タイミングを合わせて跳んでいました。クラスの一体感が高まったと思います。

前日の夜は激しい雨が降りメニューの変更も考えていましたが、現地に着くとやや肌寒いものの天気が回復し、予定通り進めることができました。「楽しむこと。友だちを作ること」を目標にスタートした1日でしたが、その目標をしっかりと達成できたと思います。

入学以来様々なオリエンテーションや初めての高校の授業で緊張が続く毎日だったと思います。またうまく友だちができるか、などの不安も抱えていたと思います。しかし、日常を離れ、爽やかな新緑の下で過ごしたこの体験で、それらの緊張や不安を少なからず解消できたのではないかと思います。そして、参加者全員が一人のケガ人も体調不良者も出さずに無事に帰校できたことが大きな成果だと思います。

多くの方々に見守られながら、46回生が少しずつ成長していく様子をこれからもお届けしていきます。